国際水産資源調査事業
現場実態調査（まぐろ・さめ類）

田中友樹

目　的

国際的に利用管理されている国際水産資源であるまぐろ類及びさめ類の科学的データを補完するための調査を行った。なお、本調査は、水産庁の水産資源調査・評価推進委託事業国際水産資源くろまぐろ及びかつお･まぐろユニットのうち現場実態調査の一環として実施した。

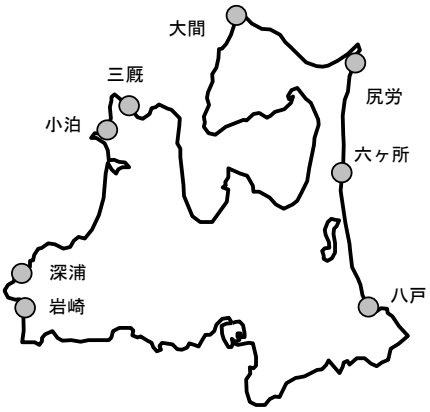


図 1.　調査地

材料と方法

1. まぐろ類

(1) 漁獲統計調査

青森県海面漁業に関する調査結果書（青森県農林水産部発行）を用いて、海域別・漁法別・年別にまぐろ類の漁獲量を集計した。海域区分は、大間越漁協～小泊漁協を日本海、外ヶ浜漁協～脇野沢村漁協を陸奥湾、竜飛今別漁協～岩屋漁協を津軽海峡、尻屋漁協～階上漁協を太平洋とした。

(2) クロマグロ漁獲状況調査

2024 年 1～12 月に調査対象とした図 1 に示す 8 地区にある漁業協同組合等（新深浦町漁業協同組合岩崎支所、深浦漁業協同組合、小泊漁業協同組合、三厩漁業協同組合、大間漁業協同組合、尻労漁業協同組合、六ヶ所村海水漁業協同組合、（株）八戸魚市場）から水揚げ伝票を入手し、月別、漁法別、銘柄別に漁獲量をとりまとめた。

(3) クロマグロ生物測定調査

2024 年 1～12 月に調査対象とした図 1 に示す漁業協同組合等のうち、三厩漁業協同組合においては漁協職員が測定した水揚げされた全 622 個体中 229 個体について尾叉長、体重データを、大間漁業協同組合においては、（国研）水産研究・教育機構が測定した体重 30 kg 以上の水揚げされた個体を中心に全 1,176 個体中 710 個体の尾叉長、体重データを入手した。また、深浦漁協においては、水揚げされた全 10,895 個体について 1 kg 単位の規格に分かれた水揚げ伝票を入手、体重を集計し、前述のデータと合わせて月別にとりまとめた。

2. さめ類

(1) 漁獲統計調査

青森県海面漁業に関する調査結果書（青森県農林水産部発行）を用いて、海域別・漁法別・年別に漁獲量を集計した。海域区分は、大間越漁協～小泊漁協を日本海、外ヶ浜漁協～脇野沢村漁協を陸奥湾、竜飛今別漁協～岩屋漁協を津軽海峡、尻屋漁協～階上漁協を太平洋とした。

(2) 漁獲状況調査

2024 年 1～12 月に調査対象とした八戸地区（図 1）にある（株）八戸魚市場の水揚げ伝票から、さめ類の魚種別、月別、漁法別、銘柄別の漁獲量をとりまとめた。

結　果

1．まぐろ類

(1) 漁獲統計調査

青森県におけるまぐろ類の海域別及び漁法別漁獲量の推移を図 2 に示した。本県沿岸で漁獲されるまぐろ類は、ほぼすべてがクロマグロであり、2015 年以降は数量規制の資源管理が行われている。漁獲量は 2009 年の 1,139 トンをピークに 2017 年まで減少傾向で、その後は安定しており、2024 年は前年（769 トン）比 99 %の 758 トンであった。海域別にみると日本海と津軽海峡が同程度で高く、次いで太平洋となっている。漁法は釣りが主体であったが、延縄が 2004 年から、定置網が 2003 年から漁獲量が増加していた。2024 年は釣り、延縄、定置網が多く、それぞれ 39 %、24 %、35 %を占めていた。

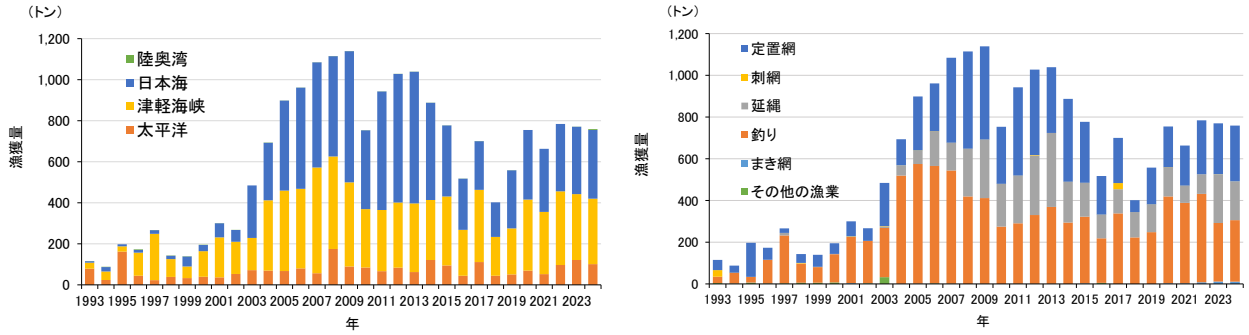


図 2.　青森県におけるまぐろ類漁獲量の推移（左図：海域別、右図：漁法別）

(2) クロマグロ漁獲状況調査

前述のとおり、2015 年以降は数量規制の資源管理が行われている。調査対象 8 地区全体の 2024 年の漁獲量は、555 トンと前年（567 トン）の 97 %であった（図 3)。海域別にみると、日本海（岩崎、深浦、小泊）では 248 トンと前年（243 トン）の 102 %、津軽海峡（三厩、大間）では 238 トンと前年（249 トン）の 95 %、太平洋（尻労、六ヶ所、八戸）では 68 トンと前年（74 トン）の 138 %であった（図 3、表 1)。月別漁獲量をみると（図 4)、定置網を主体とした日本海の深浦と岩崎では 5 月～7 月に多く漁獲された。釣り、延縄を主体とした小泊では 7 月に多く漁獲され、津軽海峡の三厩では 10 月に、大間では 9 月以降漁獲され続けた。定置網主体の太平洋の尻労では 8 月に漁獲のピークがみられた（図 4、表 2)。

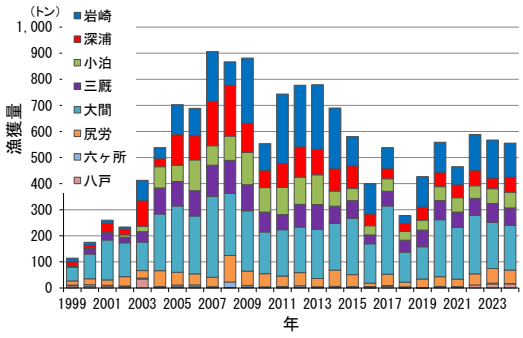


図 3.　調査対象 8 地区における地区別クロマグロ年間漁獲量の推移

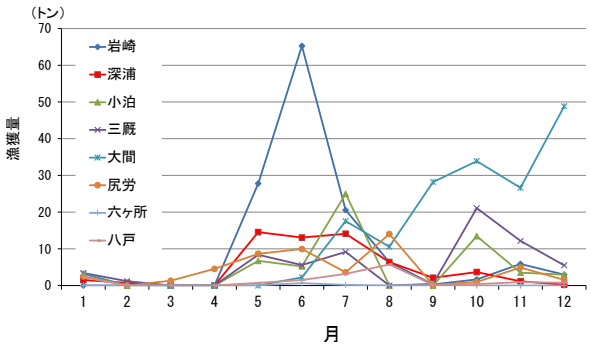


図 4.　2024 年の調査対象 8 地区における月別クロマグロ漁獲量の推移

表 1.　地区別クロマグロ年間漁獲量の推移

（トン）

西暦	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
新深浦町漁協岩崎支所	13.6	11.6	11.9	7.9	78.3	40.7	114.9	104.4	190.7	89.6	249.9	102.0	266.5	236.3	247.3
深浦漁協	18.3	9.1	32.7	22.2	98.1	32.3	117.5	93.0	170.1	194.9	111.0	66.3	91.1	116.1	97.9
小泊漁協	2.8	3.7	3.8	8.7	20.5	81.8	62.6	118.0	74.8	93.3	124.5	93.9	104.3	104.5	113.5
三厩漁協	0.2	20.4	27.3	21.5	39.8	99.6	93.6	97.1	120.0	126.5	99.6	76.2	57.9	86.5	95.9
大間漁協	52.3	95.0	153.3	130.2	109.3	217.2	254.2	221.7	309.3	237.9	231.7	159.9	177.7	175.0	188.0
尻労漁協	16.0	22.7	20.3	35.4	28.8	60.5	48.8	42.6	36.3	101.4	54.5	50.7	40.1	50.5	31.7
六ヶ所村海水漁協	2.8	6.1	2.8	2.9	4.0	3.8	6.6	7.0	2.8	21.2	6.3	2.8	4.4	6.2	2.9
八戸市	8.3	6.6	7.9	4.9	34.0	2.1	4.7	4.7	2.2	2.0	3.5	1.5	1.5	2.3	1.7

西暦	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
新深浦町漁協岩崎支所	232.9	111.9	116.3	81.0	29.9	117.2	114.7	70.1	138.0	72.4	130.8
深浦漁協	85.3	87.3	45.3	38.4	30.6	49.3	55.5	48.7	58.2	56.4	57.5
小泊漁協	57.8	46.6	35.1	48.2	34.0	38.3	53.4	55.3	48.5	41.1	60.1
三厩漁協	66.6	67.4	33.9	56.1	45.8	64.0	73.1	58.7	64.6	145.6	66.9
大間漁協	178.4	216.0	151.0	261.5	114.9	123.6	218.8	198.4	224.8	176.9	171.1
尻労漁協	62.5	45.4	13.3	43.3	18.5	32.9	37.2	28.7	42.6	56.6	52.2
六ヶ所村海水漁協	3.3	2.5	4.0	3.7	3.7	1.1	1.6	2.3	0.0	2.9	1.0
八戸市	3.0	3.2	1.4	6.0	0.4	0.4	4.3	2.8	11.4	15.4	15.7

表 2.　2024 年の地区別クロマグロ漁獲量の月別推移

（kg）

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
新深浦町漁協岩崎支所	0	0	0	0	27,783	65,265	20,551	6,376	291	1,654	5,888	2,958
深浦漁協	1,503	725	0	8	14,549	13,069	14,107	6,387	2,124	3,677	1,162	216
小泊漁協	3,190	0	0	0	6,731	5,224	24,995	18	0	13,462	3,505	2,974
三厩漁協	3,422	1,184	0	0	8,376	5,582	9,149	0	438	21,096	12,168	5,505
大間漁協	3,204	0	0	0	0	2,228	17,546	10,581	28,181	33,891	26,629	48,852
尻労漁協	2,490	0	1,312	4,533	8,660	9,949	3,606	14,043	150	973	4,919	1,521
六ヶ所村海水漁協	0	0	0	0	65	639	157	47	113	0	0	0
八戸市	2,240	0	0	0	719	1,509	3,183	5,757	195	392	934	748

(3) クロマグロ生物測定調査

クロマグロの尾叉長又は体重を図 5 に示した。三厩では 115 cm～254 cmと幅広いサイズが漁獲されており、漁獲のピークが見られた 7 月は 135 cm～164 cmが、10 月は漁獲が多いものの、測定個体数が少なく 175 cm～254 cm の大型が広く漁獲されていた。大間では 105 cm～264 cmと幅広いサイズが漁獲されており、漁獲のピークが見られた 12 月は 175 cm～219 cmが多く漁獲されていた。深浦では 5 kg 未満が中心で、最も多く漁獲された 5 月～6 月では 2 kg～4 kg が主体に漁獲されていた。

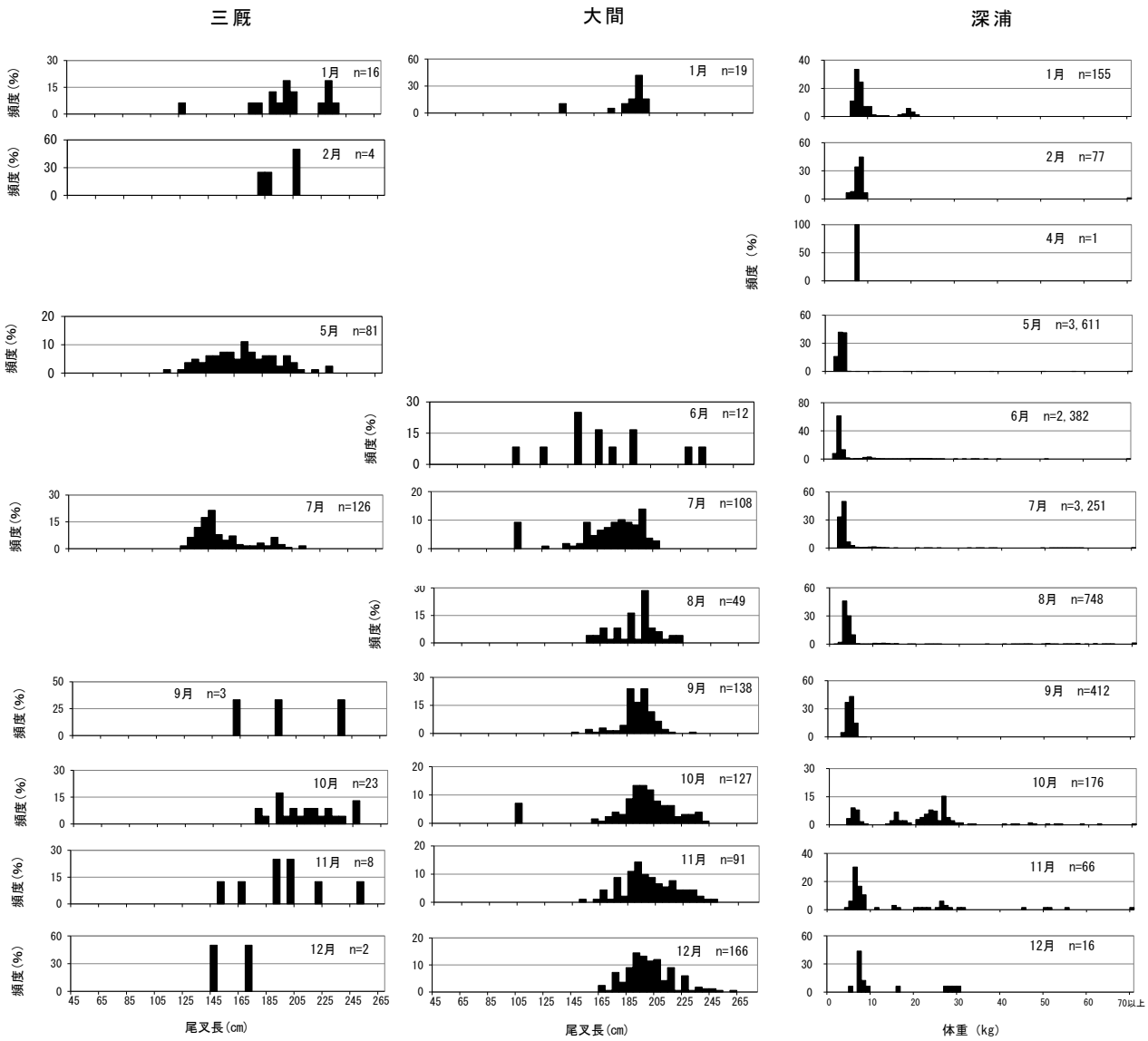


図 5.　2024 年に水揚げされたクロマグロの月別尾叉長（三厩、大間）と体重（深浦）組成

※大間は 30kg 以上の個体について測定

また、直近 5 ヶ年のクロマグロの尾叉長又は体重の組成を図 6 に示した。尾叉長・体重の組成は図の通りで、三厩では 140 cm 前後が中心に漁獲されているが、2023 年は 100 cm 前後の小型と 200 cm 以上の大型が多く、2024 年は 130 cm 未満の小型が少なかった。大間では 150 cm 以上の大型が多く漁獲されているが、2020 年、2021 年、2024 年には 140 cm 前後にもピークは見られている。深浦では 20 kg 未満の小型魚が中心で 5 kg 未満と 10 kg 前後の二つのピークが見られるが、後者は 2023 年、2024 年には見られなかった。

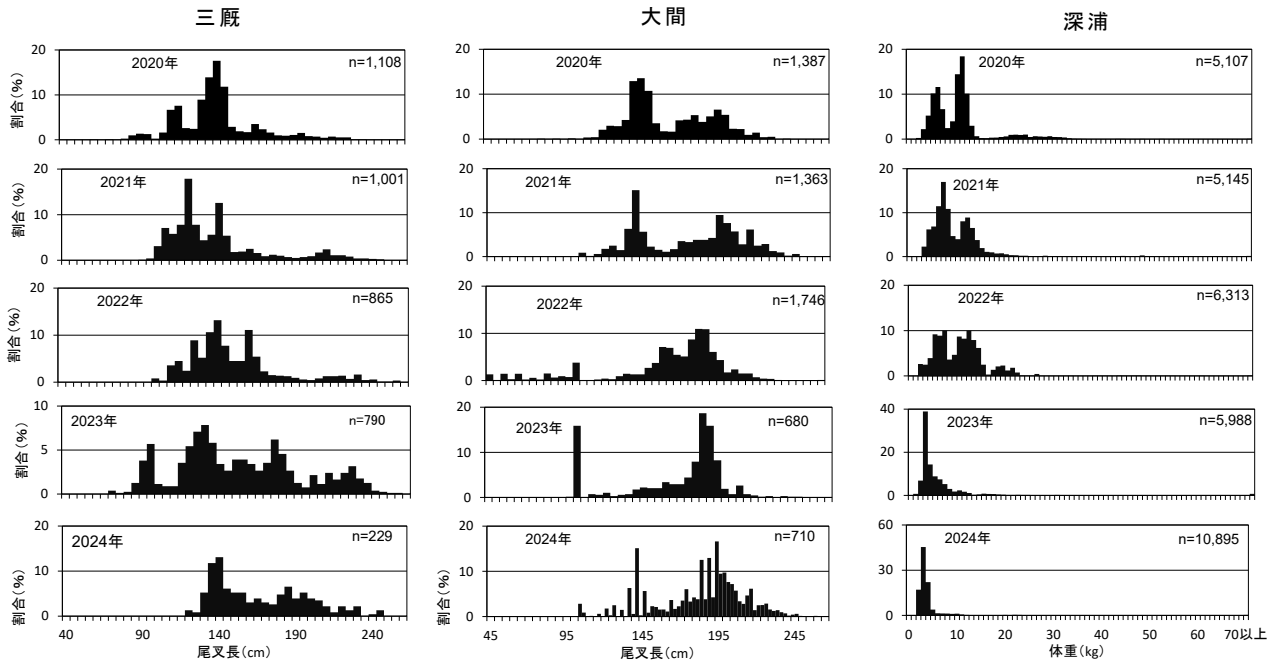


図 6.　2020～2024 年に水揚げされたクロマグロの年別尾叉長（三厩、大間）と体重（深浦）組成
※大間は 30kg 以上を中心に測定

2．さめ類

(1) 漁獲統計調査

青森県におけるさめ類の海域別及び漁法別漁獲量の推移を図 7 に示した。本県沿岸で漁獲されるさめ類は、ほぼすべてがアブラツノザメであり、漁獲量は 1992 年に 2,605 トンとピークに達した後減少し、2004 年に 743 トンまで減少した。2005 年以降に増加したが 2012 年からは減少傾向で、2024 年の漁獲量は 518 トンであった。海域別にみると太平洋で最も多く、次いで津軽海峡となっている。漁法は 1981～1992 年では底曳網が主体であったが、1993 年から沖合底曳網漁業による漁獲量が減少し延縄漁業の比率が増加した。2016 年以降は延縄漁業の漁獲量が減少し、2024 年は沖合底曳網漁業が最も多かった。

(2) 漁獲状況調査

八戸港に水揚げされたさめ類の魚種別、漁法別漁獲量を表 3、4 に示した。2024 年においてはアブラツノザメが全漁獲量の 99%を占め、そのほかネズミザメが少量水揚げされた（表 3）。また、主な漁法は底曳網で、全体の 99%を占めた（表 4）。八戸港に水揚げされたさめ類の年別漁獲量を図 8 に、月別漁獲量を図 9 に示した。2024 年の漁獲量は、274 トンと前年（296 トン）の 92%であった。月別では、漁獲量は 1、2 月に多く、1 月に 114 トンと最も多く漁獲された。

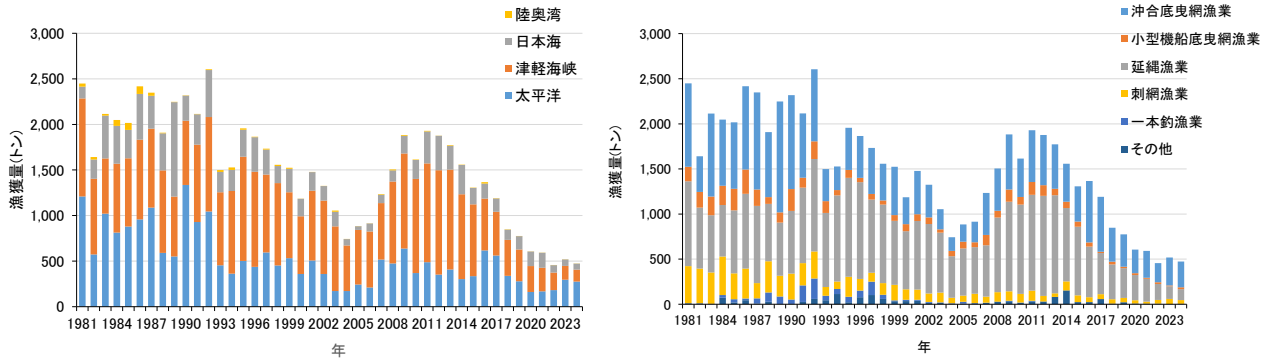


図 7.　青森県におけるさめ類漁獲量の推移（左図：海域別、右図：漁法別）

表 3.　八戸港の魚種別漁獲量

	ｱﾌﾞﾗﾂﾉｻﾞﾒ（トン）	その他サメ（トン）	合　計（トン）	ｱﾌﾞﾗﾂﾉｻﾞﾒ（%）
2005年	216	5	221	97.5
2006年	200	6	207	97.0
2007年	501	10	511	98.0
2008年	460	4	464	99.1
2009年	616	5	621	99.3
2010年	351	9	360	97.6
2011年	476	3	479	99.4
2012年	341	5	345	98.7
2013年	400	3	403	99.4
2014年	294	6	300	98.1
2015年	326	5	331	98.6
2016年	612	4	616	99.4
2017年	555	3	558	99.5
2018年	336	2	338	99.4
2019年	259	1	259	99.7
2020年	159	1	159	99.7
2021年	162	1	163	99.5
2022年	178	1	178	99.7
2023年	295	0	296	99.9
2024年	274	0	274	99.9

表 4.　八戸港の漁法別漁獲量

	底曳網（トン）	その他漁業（トン）	合　計（トン）	底曳網（%）
2005年	218	3	221	98.8
2006年	202	4	207	98.0
2007年	488	23	511	95.4
2008年	453	12	464	97.4
2009年	611	10	621	98.4
2010年	353	7	360	98.0
2011年	452	27	479	94.4
2012年	328	18	345	94.9
2013年	327	76	403	81.2
2014年	248	52	300	82.7
2015年	316	15	331	95.4
2016年	595	20	616	96.7
2017年	528	30	558	94.6
2018年	332	6	338	98.2
2019年	253	7	259	97.3
2020年	134	25	159	84.2
2021年	151	12	163	92.7
2022年	159	19	178	89.4
2023年	295	1	296	99.8
2024年	272	2	274	99.4

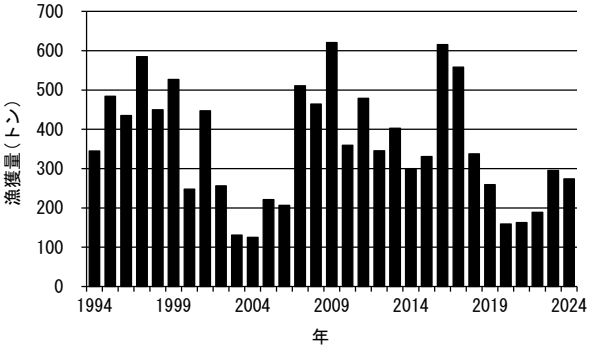


図 8.　八戸港のさめ類年間漁獲量の推移

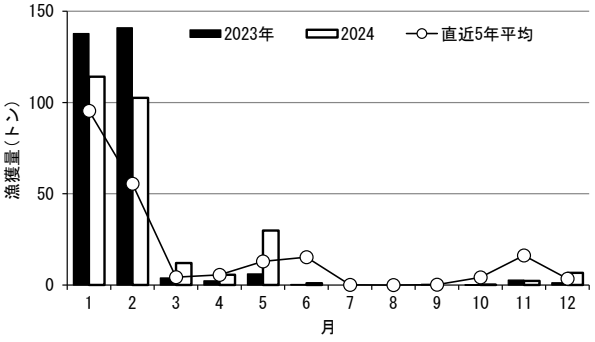


図 9.　八戸港のさめ類月別漁獲量の推移